

大学院で応募できる

奨学金や研究者養成のための各種制度について

名古屋大学 博士課程教育推進機構 キャリア教育室

大学院進学にあたり、金銭的な不安と大学院に進学したメリットについて相談される学部学生が多数おられます。今は様々なニーズに合わせた制度があります。以下にいくつかを提示します。それぞれHPで確認したうえで問合せ先に相談に行くとよいでしょう。応募時期や対象者が限られる場合がありますので、早めに行動を起こすことをおすすめします。

なお、進学への不安についての相談は以下を利用してください。

- **学生支援センター学生相談部門** <http://gakuso.provost.nagoya-u.ac.jp/counseling/index.html>
⇒進路、学業、将来、対人関係、家族との関係など学生生活上の悩みや課題についての相談
- **大学院生のためのキャリアガイダンス**(毎月1回開催) <https://dec.nagoya-u.ac.jp/career/>
⇒博士後期課程進学後のキャリア形成について情報が得られる

1 名古屋大学HPの「教育/キャンパスライフ>各種免除制度・奨学支援」にある各種制度

入学後に受けられる、各種免除・奨学支援が紹介されています。

<http://www.nagoya-u.ac.jp/academics/scholarship/index.html>

●奨学金	<ul style="list-style-type: none"> ・公のものと、民間や自治体が行っているものがある ・返還不要のものもある ・対象者や応募時期が限られている場合もある
●入学料免除、授業料免除	<ul style="list-style-type: none"> ・年一回の申請時期がある

学内問合せ先：各学部の教務

2 日本学術振興会 特別研究員 (DC1、DC2)

優れた若手研究者に研究に専念する機会を与え、研究者の養成・確保を図る制度。

<https://www.jsps.go.jp/j-pd/>

博士前期課程2年次4月頃に申請し、採択されれば博士後期課程1年次より研究奨励金を得られる。

(返還不要)

学内問合せ先：研究協力部研究事業課外部資金係(第一) E-mail: ken-jsps@adm.nagoya-u.ac.jp

3 ティーチングアシスタント (通称 TA)

各研究科において学部の講義や実習を支援することで、大学院生が教育的な経験を積むことができる制度で、その対価として手当が支給される。進学後に研究科や研究室で募集がある場合がある。

学内問合せ先：研究室の指導教員

4 リサーチアシスタント (通称 RA)

各研究室において学部生などの後輩の研究の指導や、教員が行う共同研究に参画することで、大学院生が研究経験を積むことができる制度で、その対価として手当が支給される。主に、研究室内で研究費があり参画すべき研究がある場合に募集がある。

問合せ先：各研究室の指導教員

5 卓越大学院プログラム

名古屋大学では現在4プログラムを実施している。5年間一貫の博士課程学位プログラムで卓越した博士人材になるような特別教育を研究室の研究と並行して行うものである。

博士前期課程進学前後に各プログラムの応募時期に申請し選考をされると、特別プログラムの受講資格とリサーチアシスタントとして、約5年間の金銭的支援が得られる（返還不要）。

■トランスフォーマティブ化学生命融合研究大学院プログラム (GTR)

・対象研究科	理学研究科：物質理学専攻（化学系）/生命理学専攻 工学研究科：有機・高分子化学専攻/応用物質化学専攻/生命分子工学専攻 生命農学研究科 創薬科学研究科
・入学選抜	M1の5月（秋入学生は、入学する年の5月または11月より選択）
・RA支援内容	プレRA支援（GTRプログラムの入学選抜合格者）：50万円/年 RA支援（M1終了時に実施する融合研究プロポーザルの合格者）：100万円/年 派遣支援（国際学会への参加：1回、国内外での研究：上限150万円） 授業料減免（博士後期課程の特に優れた学生）：133,950円/年 ※詳細はHP（ http://www.itbm.nagoya-u.ac.jp/gtr/en ）

問合せ先：GTR 学生支援室 E-mail：gtr@itbm.nagoya-u.ac.jp

■未来エレクトロニクス創生加速DII協働大学院プログラム (DII)

・出願資格	工学（物理工学系、マテリアル工学系、電気電子情報工学系、機械・航空宇宙工学系、エネルギー理工学系および関連専攻）の博士前期課程に進学が決まっている者および、G30自動車工学プログラム博士前期課程（機械系・電気系）に入学した者
・出願受付時期	博士前期課程へ入学予定前の2月ごろ
・支援内容	1～2年次（博士前期）月10万円、3年次以降～5年次（博士後期）月20万円 ※詳細はHP（ https://www.dii.engg.nagoya-u.ac.jp/blog/news/entry-278.html ）

問合せ先：DII アドミッションオフィス(AO室) E-mail：ao@dii.engg.nagoya-u.ac.jp

■情報・生命医科学コラボレーション on グローカルアライアンス卓越大学院プログラム (CIBoG)

・対象研究科	医学系研究科 生命農学研究科：応用生命科学専攻 情報学研究科：情報システム学専攻/知能システム専攻 創薬科学研究科 に進学したM1対象（医学のみ4年生博士課程に進学したD1対象）
・支援内容	1～2年次（博士前期）月8.5万円、3～5年次（博士後期）月15万円など ※詳細はHP（ https://cibog.med.nagoya-u.ac.jp/ ）

問合せ先：CIBoG 卓越推進室 E-mail: cibog@med.nagoya-u.ac.jp

■ライフスタイル革命のための超学際移動イノベーション人材養成学位プログラム (TMI)

・対象研究科	人文学研究科 法学研究科：総合法政専攻 経済学研究科：社会経済システム専攻/産業経営システム専攻 情報学研究科：数理情報学専攻/複雑系科学専攻/社会情報学専攻/ 心理・認知科学専攻、情報システム専攻、知能システム工学専攻 工学研究科：電気工学専攻、電子工学専攻、情報・通信工学専攻/ 機械システム工学専攻/マイクロ・ナノ機械理工学専攻/ 航空宇宙工学専攻/土木工学専攻 環境学研究科：地球環境科学専攻、都市環境学専攻、社会環境学専攻
・支援内容	1～2年次（博士前期）月8万円程度（雇用）、3～5年次（博士後期）月20万円程度など ※詳細はHP（ https://www.tmi.mirai.nagoya-u.ac.jp/ ）

問合せ先：TMI 卓越推進室 E-mail: tmi@mirai.nagoya-u.ac.jp

6 リーディング大学院

上記5の卓越大学院と同様に5年間一貫の博士課程学位プログラムで、産官学にわたりグローバルリーダー育成の学位プログラムを研究室の研究と並行して行うものである。

■実世界データ循環学リーダー人材養成プログラム

・出願資格	本学大学院のいずれかの研究科の博士前期課程に入学予定の者、または、すでに入学している者で、博士取得に至るまで本プログラムをやり遂げる意思を持った者
・支援内容	博士後期課程における授業料免除、半額支援など ※詳細はHP (http://www.rwdc.is.nagoya-u.ac.jp/)

問合せ先：情報学研究科・リーディング大学院事務局 E-mail：office@rwdc.is.nagoya-u.ac.jp

7 海外留学プログラム

自分の専攻科目を海外の大学で勉強したり研究したりすることが可能。

名古屋大学の制度を理解して、指導教員と相談して実施する。渡航費用の負担や、奨学金の制度がある。

<http://ieec.iee.nagoya-u.ac.jp/ja/abroad/index.html>

学内問合せ先：国際教育交流センター海外留学部門（国際棟1階）

8 ジョイントデGREEプログラム

医学系、生命農学系、理学研究科ではジョイントデGREEプログラムが行われています。一定期間、提携の海外大学において研究を行う制度で、経済的支援も行われる。

学内問合せ先：各研究科の教務

その他、研究科ごとにも様々な制度があります。また、情報は更新されることがあるため、各問合せ先や指導教員、学部の教務で最新情報を確認してください。